

ミニコンサート 出演者プロフィール



京樹 真那 歌手

Mana Keijyu

93年宝塚音楽学校入学。95年宝塚音楽学校卒業。95年宝塚歌劇団入団、星組「国境のない地図」にて初舞台。同年月組に配属。月組にて、「ミー&マイガール」「ウェストサイドストーリー」「ノバ・ボサノバ」「黒い瞳」他出演。パウホールや日本青年館での公演に参加。ディナーショー「platinam」に出演。01年宝塚歌劇団退団。退団後は地元稲沢に戻り、司会業の他に旧稲沢市民会館でのコンサートや名古屋のホールでのコンサートを行う。韓国ドラマ「冬のソナタ」ブームの時にドラマ内の曲を集めた演奏会に参加。韓国の新羅ホテル迎賓館にてディナーショー。現在は宝塚を目指す受験生に指導をしている。



伊藤 真理子 ピアノ

Mariko Ito

名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て、愛知県立芸術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。東京コンセルヴァトワール尚美ディプロマコース修了、音楽研究室員を務める。国際芸術連盟新人推薦オーディション合格のほか、ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスター達とピアノトリオ共演。日仏音楽協会フランス音楽コンクール第3位。併せてフランス総領事賞、関西ピアノ音楽専門学校賞、日仏学館賞などを受賞。21世紀ピアノコンクール第3位を受賞。現在、愛知文教女子短期大学幼児教育学科 非常勤講師。国際的ピアニストのT.ラヴァッサール氏による日本やスイスでのマスタークラスを受講しながら研鑽を積んでいる。また併せてチェンバロを戸崎廣乃氏に師事している。

特別講演②

『高齢者ケアを考える ～認知症の理解と予防～』

名古屋市立大学 看護学部 高齢者看護学 講師 湊田 英津子

【プロフィール】

- 山梨大学大学院(博士課程)医学工学融合領域ヒューマンヘルスケア学
- 取得学位:学士(看護学)、修士(看護学)、博士(看護学)
- 所属学会:日本看護科学学会、日本認知症ケア学会、日本老年看護学会、日本家族看護学会
- 研究テーマ:認知症高齢者のBPSDに関する研究
認知症高齢者をケアする職員や家族支援に関する研究



認知症とは

いったん発達した機能が持続的に低下し、記憶障害が進み、日常生活や社会生活に支障をきたすようになった状態のことをいう。

世界保健機構(WHO)は、認知症を通常、慢性あるいは進行性の脳疾患によって生じ、記憶、思考、見当識、概念、理解、計算、学習、言語、判断など、多数の高次機能障害からなる症候群であると定義している。

◆◆◆ 認知症の初期症状 ◆◆◆

- 同じことを何度も言ったり、聞いたりする
- 置き忘れやしまい忘れがあり、1日中さがしている
- 蛇口やガス栓の締め忘れが目立つ
- 鍋やかんを焦がすことが多くなった
- 薬の管理ができなくなった
- 家電製品が使えなくなった
- 趣味や日課ができなくなった
- 料理をしなくなった など

認知症予防のコツ

- 食事は和食を中心に腹八分目
(カロリー・脂質を控え、野菜・果物・魚をバランスよく)
- 30分程度の運動を継続
(週2～3回、30分程度の有酸素運動、楽しくウォーキング)
- 脳に良い知的活動の実施
(新聞、クロスワード、料理、日記、旅行、読書、談話)
- 生活習慣病を予防
(良質な食事・睡眠、プラス思考、禁煙、適度な飲酒、健診の活用)

認知症高齢者のケアのコツ

- 認知症高齢者の感情や意志に気づく
(決めつけない、多面的に状況を考える)
- 認知症高齢者の症状にあったケアをする
(伝え方を工夫、統一したケア・言葉)
- フォーマル・インフォーマルなサービスを活用する
(介護保険制度、友人、家族の会)

